



令和 2 年 1 月 31 日
唐 津 海 上 保 安 部

「令和元年（2019 年）海難発生状況」（速報）について

～漁船海難・遊漁船海難が増加～

令和元年に唐津海上保安部管内（※1）で発生した船舶海難及び人身海難発生状況（速報）をとりまとめましたのでお知らせします。

なお、本値は速報値であることから、今後の詳細調査後、変更となる場合もあります。

※1 伊万里海上保安署、壱岐海上保安署を除く

唐津海上保安部管内は、プレジャーボートによる海難が最も多いことから、「出港前の点検の徹底」、万一の事故に備えた「救命胴衣の着用徹底」「連絡手段の確保」等について重点的に安全指導を実施しました。

I 船舶海難発生状況（詳細は別紙を参照願います）

- (1) 船舶海難発生隻数
25隻（前年比1隻増）・・・【図 1-1】
- (2) プレジャーボート海難隻数
12隻（前年比3隻減）・・・【図 1-4】
- (3) 漁船海難発生隻数
8隻（前年比2隻増）・・・【図 1-4】
- (4) 船舶海難による死者・行方不明者数
0人（前年比増減なし）・・・【図 1-1】

II 人身海難（※2）発生状況（詳細は別紙を参照願います）

- (1) 人身海難者数
23人（前年比増減なし）・・・【図 2-1】
- (2) 人身海難に伴う死者・行方不明者数
9人（前年比1人減）・・・【図 2-2】
- (3) マリンレジャーに伴う事故者数
10人（前年比増減なし）・・・【図 2-5】

※2 人身海難とは、海浜事故及び船舶海難以外の乗船者の人身事故をいいます。

目次

第Ⅰ 船舶海難発生状況（速報）

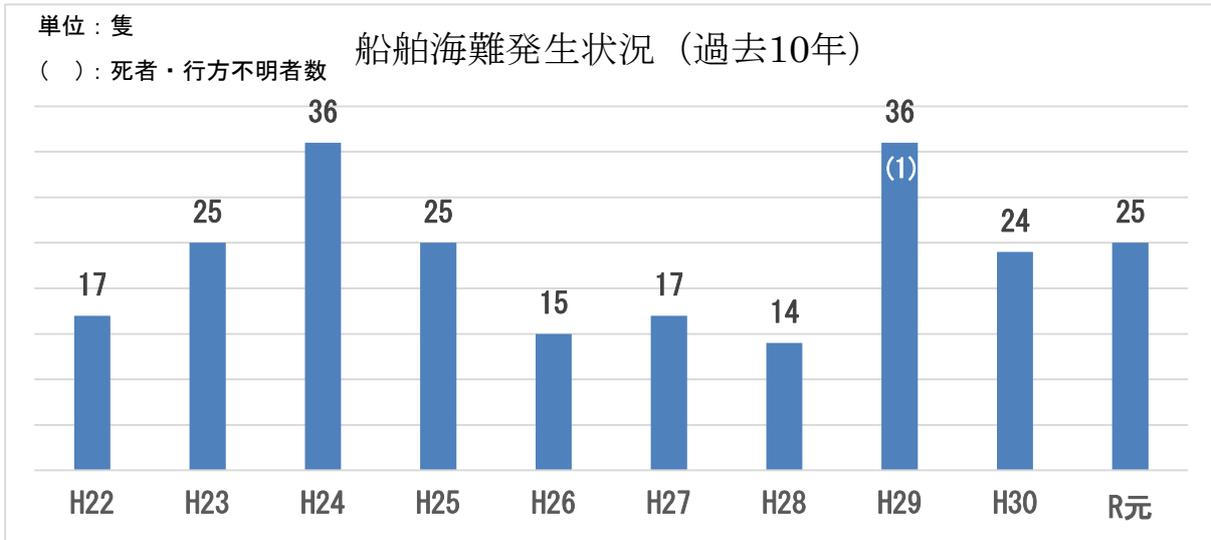
I - 1	海難発生状況〔過去 10 年(H22～R 元)〕	…………… P 1
I - 2	海難種類別発生状況〔R 元・過去 10 年(H22～R 元)〕	…………… P 1
I - 3	船舶種類別発生状況の推移〔過去 10 年(H22～R 元)〕	…………… P 2
I - 4	船舶種類別発生状況〔R 元・過去 10 年(H222～R 元)〕	…………… P 2
I - 5	プレジャーボート海難種類別発生状況〔R 元・過去 10 年(H22～R 元)〕	……… P 3
I - 6	プレジャーボート運航不能海難詳細別発生状況(R 元)	…………… P 3
I - 7	プレジャーボート海難月別発生状況〔過去 10 年(H22～R 元)〕	…………… P 4
I - 8	漁船海難種類別発生状況〔R 元・過去 10 年(H22～R 元)〕	…………… P 4

第Ⅱ 人身海難発生状況（速報）

Ⅱ - 1	人身海難発生状況〔過去 10 年(H22～R 元)〕	…………… P 5
Ⅱ - 2	人身海難内容別死者・行方不明者の推移〔過去 10 年(H22～R 元)〕	……… P 5
Ⅱ - 3	人身海難区分別発生状況〔R 元・過去 10 年(H22～R 元)〕	…………… P 6
Ⅱ - 4	マリンレジャーに伴う事故者数並びに死者・行方不明者の推移 〔過去 10 年(H22～R 元)〕	…………… P 6
Ⅱ - 5	マリンレジャーに伴う海浜事故発生状況（活動別） 〔過去 10 年(H22～R 元)〕	…………… P 7
Ⅱ - 6	釣り中の事故者数の推移〔過去 10 年(H22～R 元)〕	…………… P 7

I-1 船舶海難発生状況〔過去10年（H22～R元）〕

図 1-1



➤ 船舶海難発生隻数は、H24年の36隻をピークにその後4年減少傾向にあったが、H29年に再び36隻に増加、H30年は24隻に減少したが、R元年は前年比1隻増となった。

I-2 海難種類別発生状況〔R元・過去10年（H22～R元）〕

海難種類別発生状況（R元）

海難種類別発生状況（過去10年）

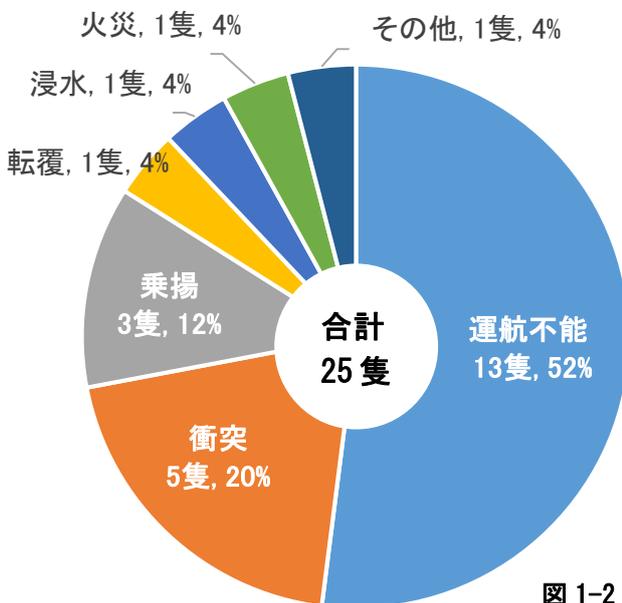


図 1-2

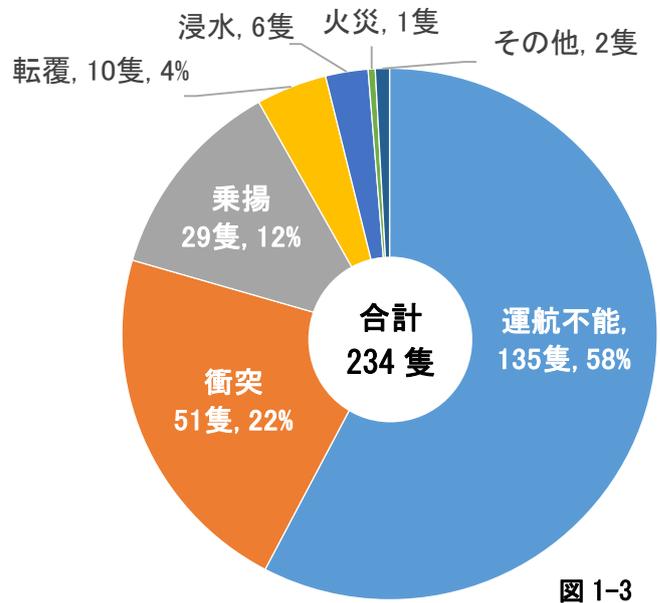


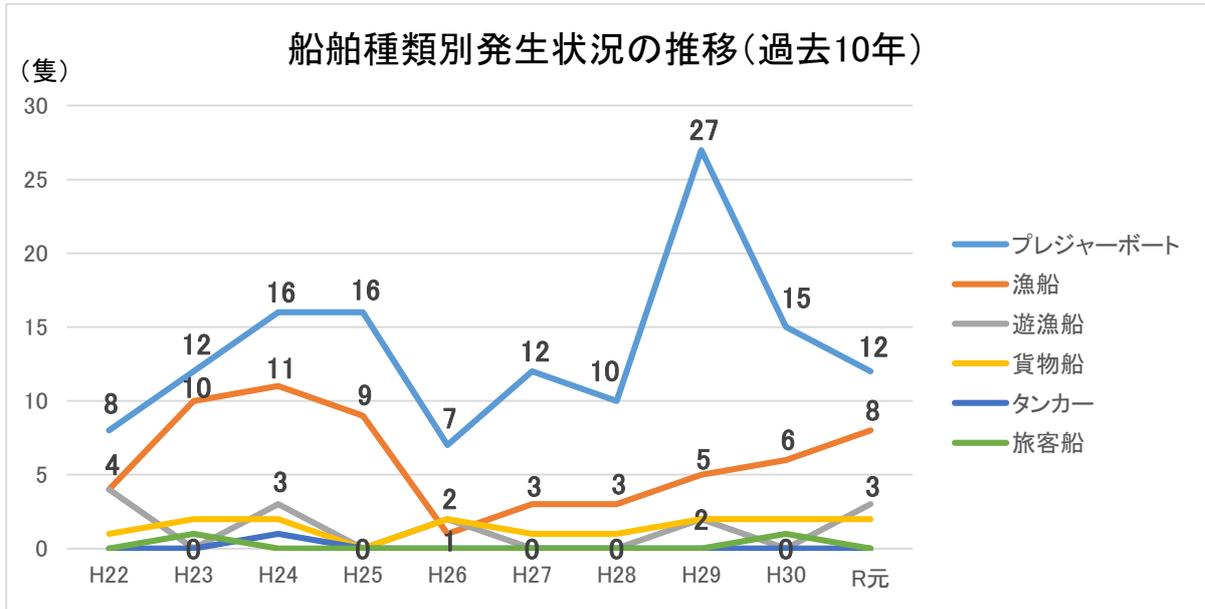
図 1-3

※ 運航不能：機関故障、バッテリー過放電、燃料欠乏等運航に必要な設備の故障により航行に支障が生じたもの

- 昨年は、海難種類別では、運航不能に区分される、機関故障、バッテリー過放電で全体の約5割を占め、以下、衝突と続き、その二種類で全海難の約7割を越えている。
- 過去10年をみても、運航不能、衝突の順で発生している。

I-3 船舶種類別発生状況の推移〔過去10年（H22～R元）〕

図1-4



- 船舶種類別では、プレジャーボート、漁船の順で発生している。
- プレジャーボート海難は、H29年は大幅に増加したが、H30から減少傾向にある。
- 漁船海難は、H27年以降増加傾向にある。

I-4 船舶種類別発生状況〔R元・過去10年（H22～R元）〕

船舶種類別発生状況（R元）

船舶種類別発生状況（過去10年）

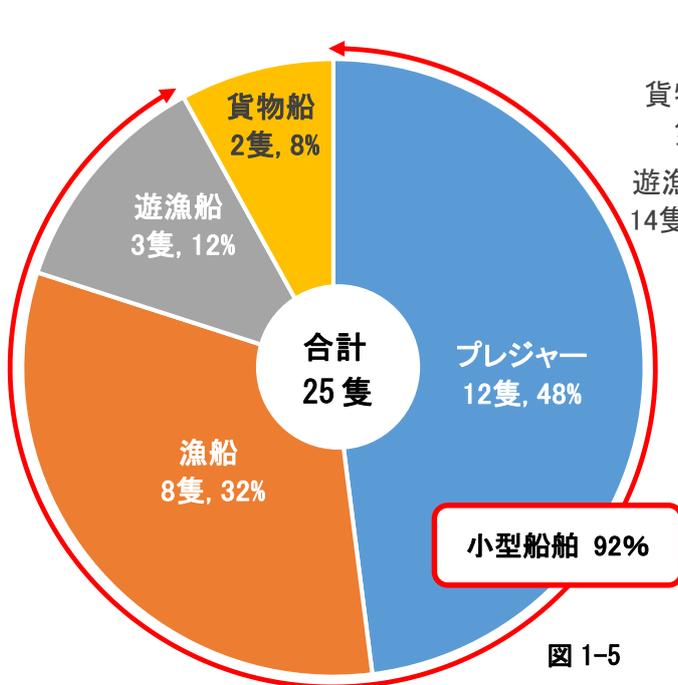


図1-5

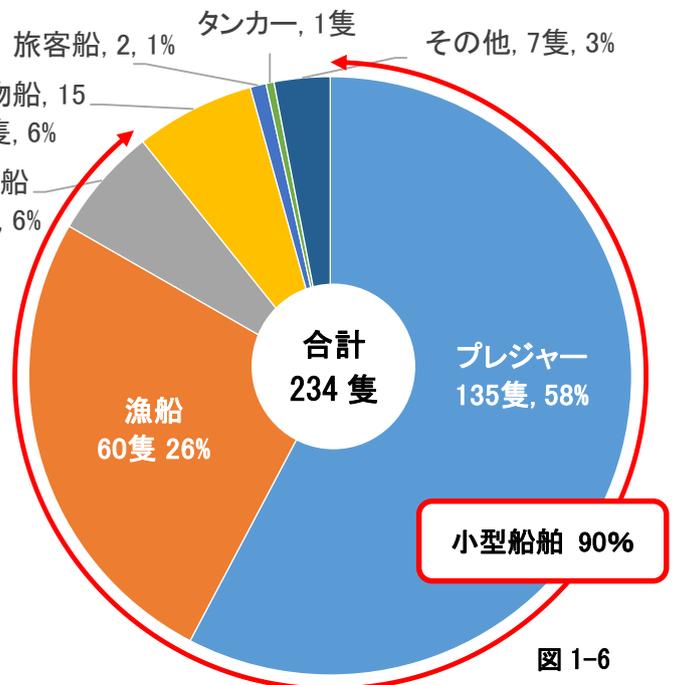


図1-6

- 昨年の小型船舶※の海難は、全船舶海難の9割以上を占めている。
 - 過去10年でも、小型船舶の海難は全船舶海難の9割を占めている。
- ※ 小型船舶：プレジャーボート（20トン未満）、漁船、遊漁船

I-5 プレジャーボート海難種類別発生状況 [R元・過去10年 (H22~R元)]

PB海難種類別発生状況(R元)

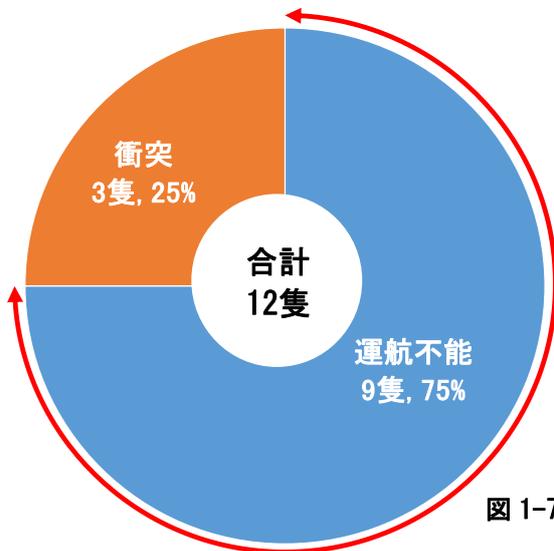


図 1-7

PB海難種類別発生状況(過去10年)

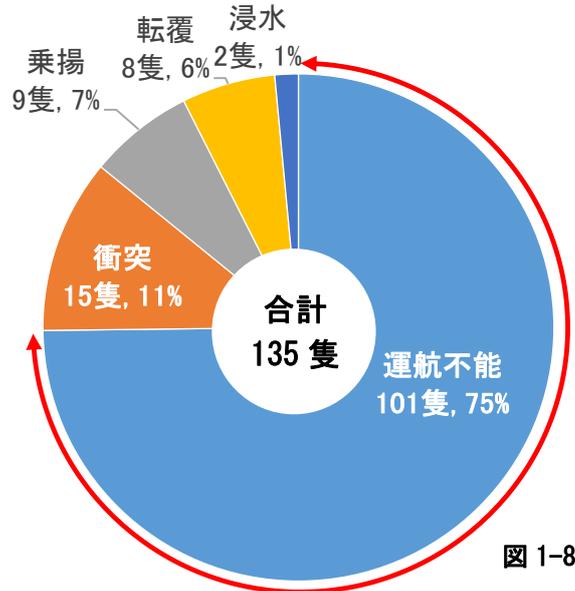


図 1-8

※ 運航不能：機関故障、バッテリー過放電、燃料欠乏等

- プレジャーボート海難の種類別発生割合を見ると、運航不能海難が約8割であった。
- 過去10年においても、同じ割合を占めている。
- 過去10年では、運航不能に続き、衝突、乗揚の順で発生している。

I-6 プレジャーボート運航不能海難詳細別発生状況 (R元)

PB運航不能詳細割合(R元)

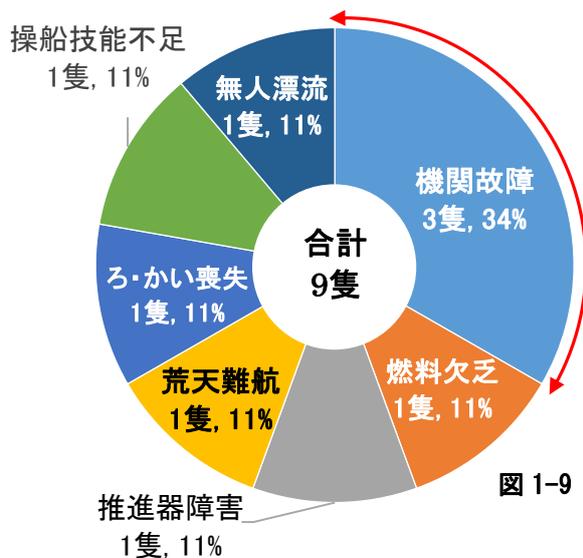


図 1-9

PB機関故障原因割合(R元)

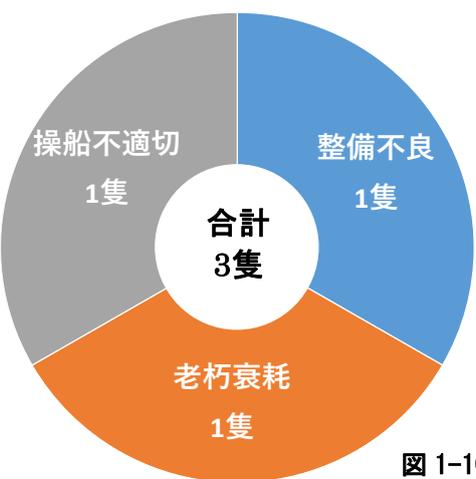
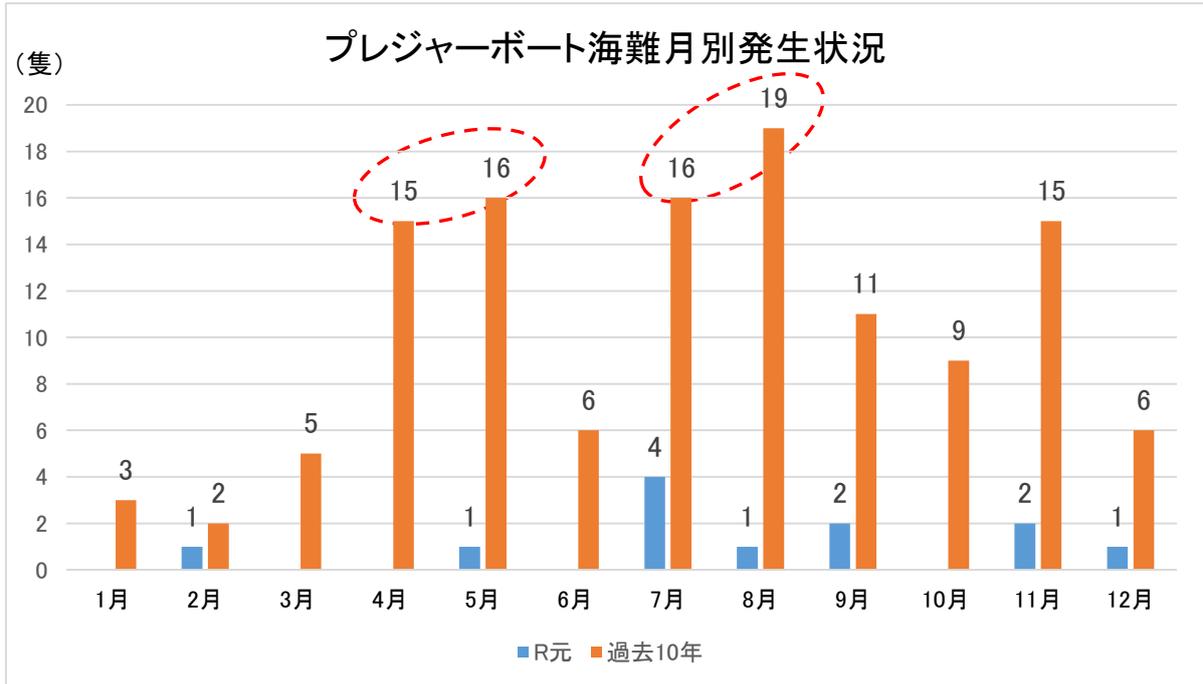


図 1-10

- プレジャーボート運航不能海難は、機関故障が最も多く発生している。

I-7 プレジャーボート海難月別発生状況〔過去10年（H22～R元）〕

図1-11



- 過去10年、プレジャーボート月別発生状況は、4月、5月、7月、8月が多く発生している。
- 昨年は、7月に多く発生しており、例年の傾向は読み取れない。

I-8 漁船海難種類別発生状況〔R元・過去10年（H22～R元）〕

漁船海難種類別発生状況（R元）

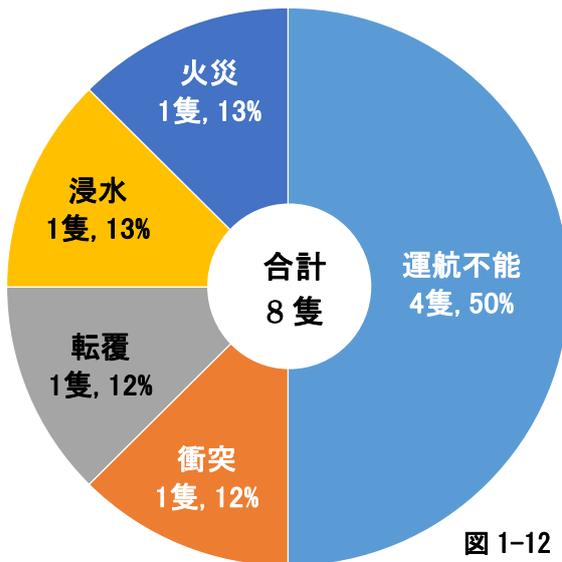


図1-12

漁船海難種類別発生状況（過去10年）

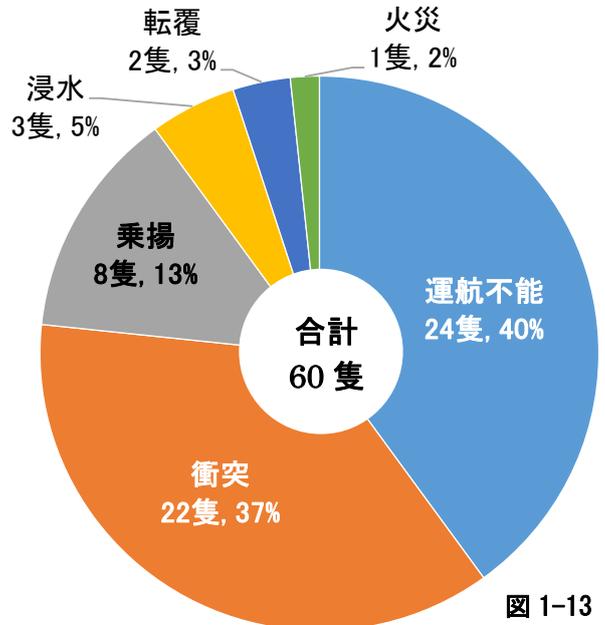


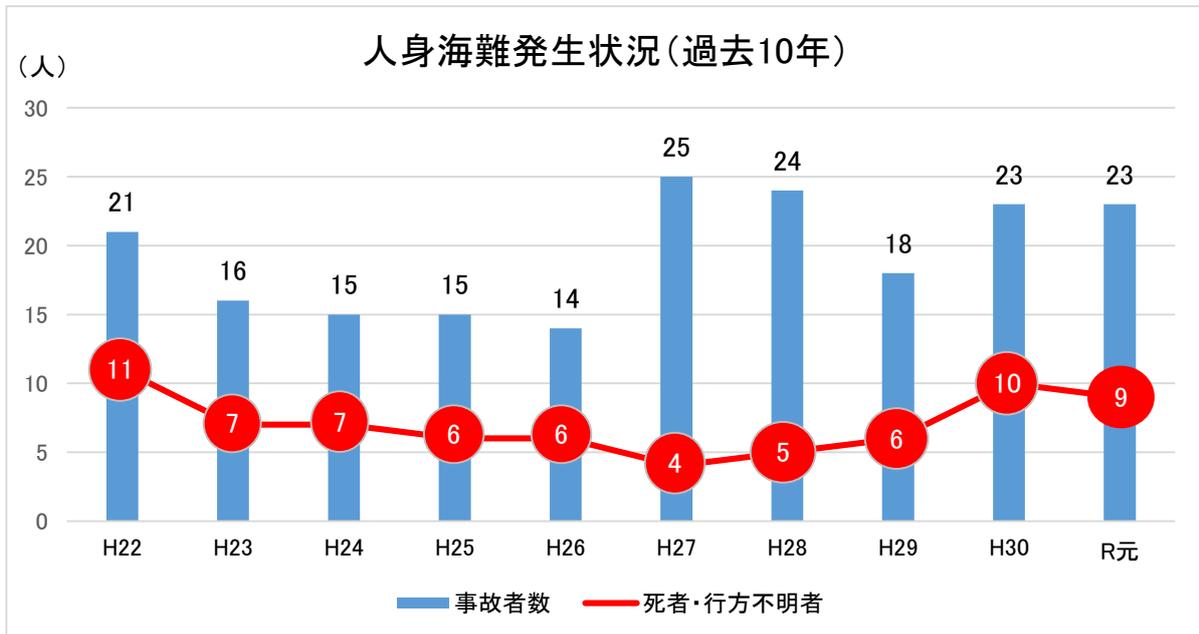
図1-13

- 漁船海難の種類別発生割合を見ると、昨年、航行不能が全体の5割であった。
- 過去10年においても、航行不能が最も多く4割、次いで衝突、乗揚の順に発生している。

第Ⅱ 人身海難発生状況（速報）

Ⅱ－１ 人身海難発生状況〔過去10年（H22～R元）〕

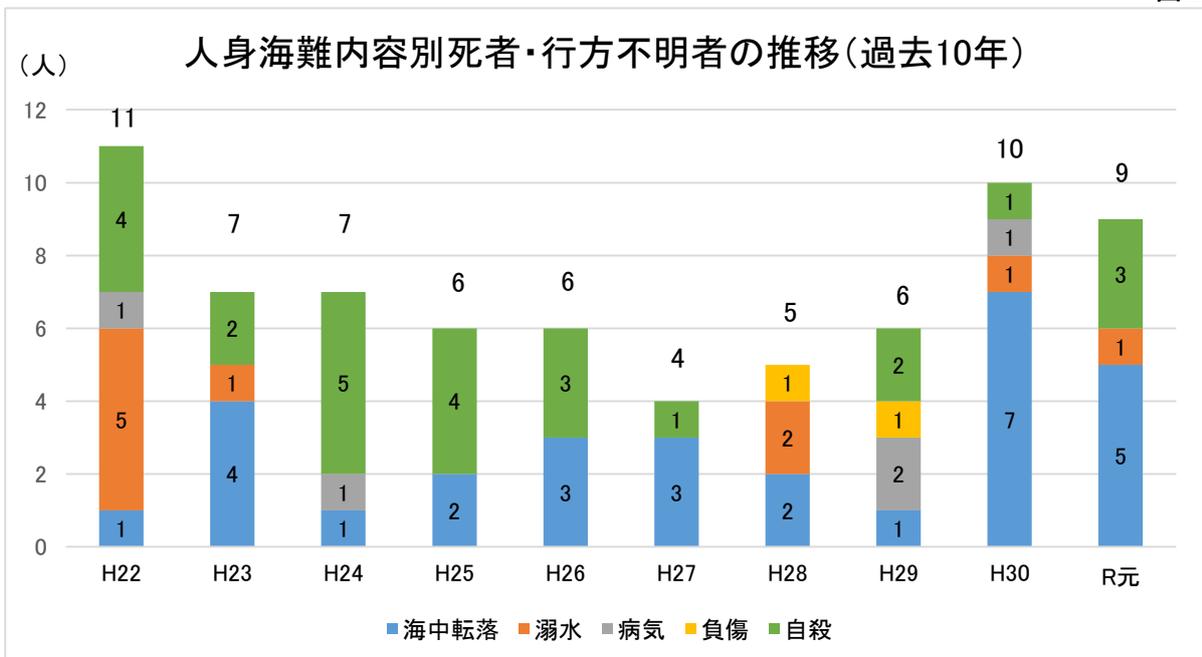
図 2-1



- H28、H29 は減少傾向にあったが、H30 から増加横ばい状態である。
- 死者・行方不明者は、2011年（H23）以降減少傾向にあったが、H28 から増加傾向にある。

Ⅱ－２ 人身海難内容別死者・行方不明者の推移〔過去10年（H22～R元）〕

図 2-2



- H27年までは、減少傾向にあったが、H28以降は増加傾向にある。
- H30以降は、海中転落による死者が急増したことから、高い発生数となっている。

Ⅱ－3 人身海難区分別発生状況〔R元・過去10年（H22～R元）〕

人身海難区分別発生状況(R元)

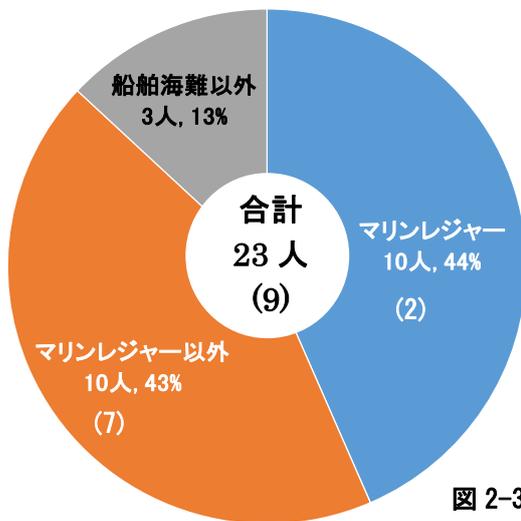


図 2-3

人身海難区分別発生状況(過去10年)

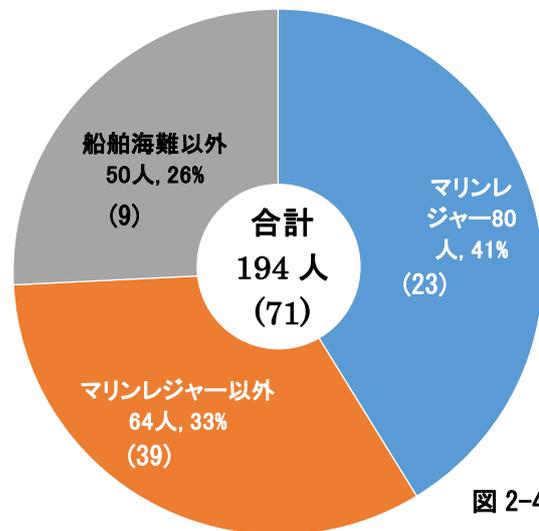
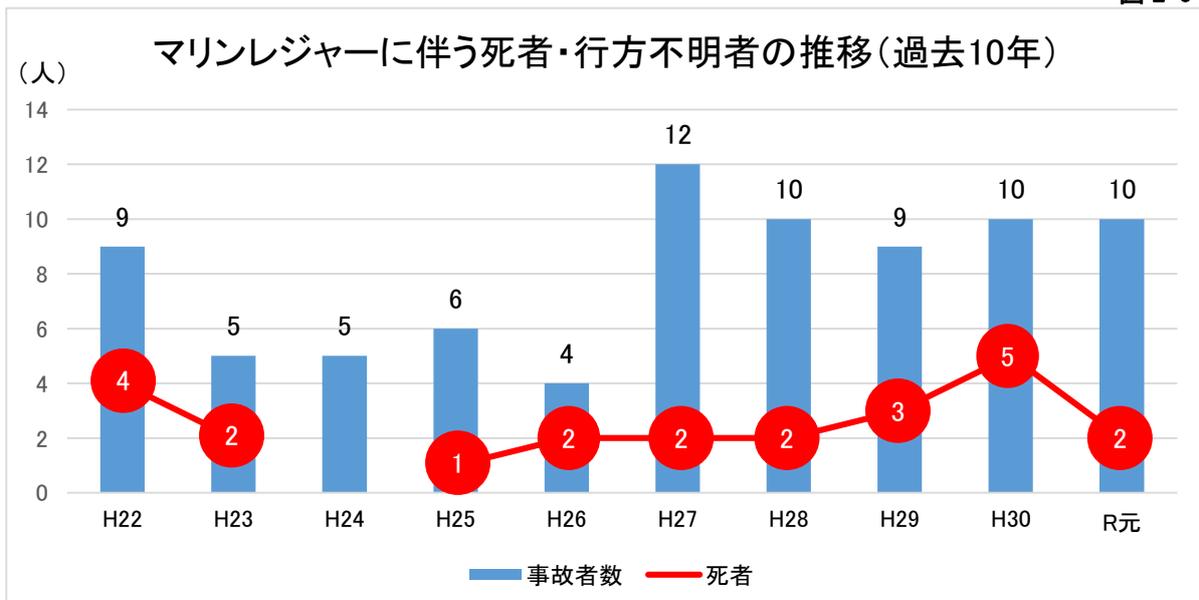


図 2-4

- 昨年は、マリンレジャーに伴う海浜事故が多く発生した。
- 過去10年においては、マリンレジャーに伴う海浜海難、マリンレジャー以外の海浜海難、船舶海難によらない乗船者の人身海難の順で発生している。
- ※ マリンレジャー以外の海浜海難とは、岸壁からの転落、負傷、自殺等
- ※ 船舶海難によらない乗船者の人身海難とは、船舶からの海中転落、船内における病気、負傷等
- ※ グラフ内（ ）は、死者数

Ⅱ－4 マリンレジャーに伴う事故者数並びに死者・行方不明者の推移（過去10年）

図 2-5



- H28 から事故者数は減少傾向にあったが、H30 から増加、横ばい状態である。
- 死者数は、昨年から減少した。

II-5 マリンレジャーに伴う海浜事故発生状況（活動別）〔R元・過去10年（H22～R元）〕

マリレに伴う海浜事故内訳(R元)

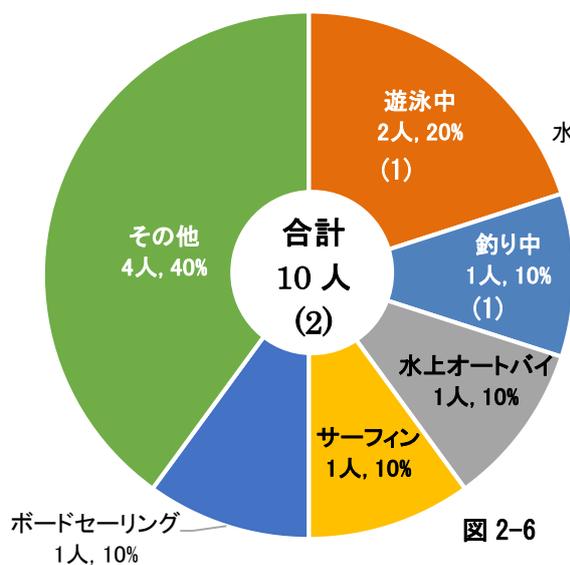


図 2-6

マリレに伴う海浜事故内訳(過去10年)

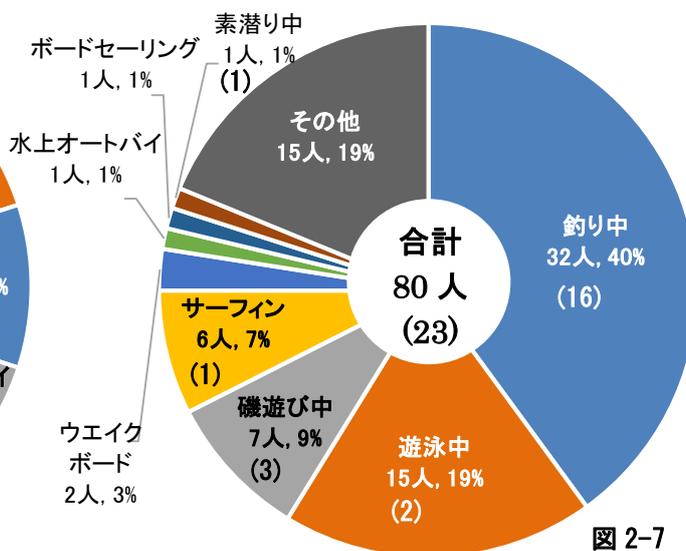


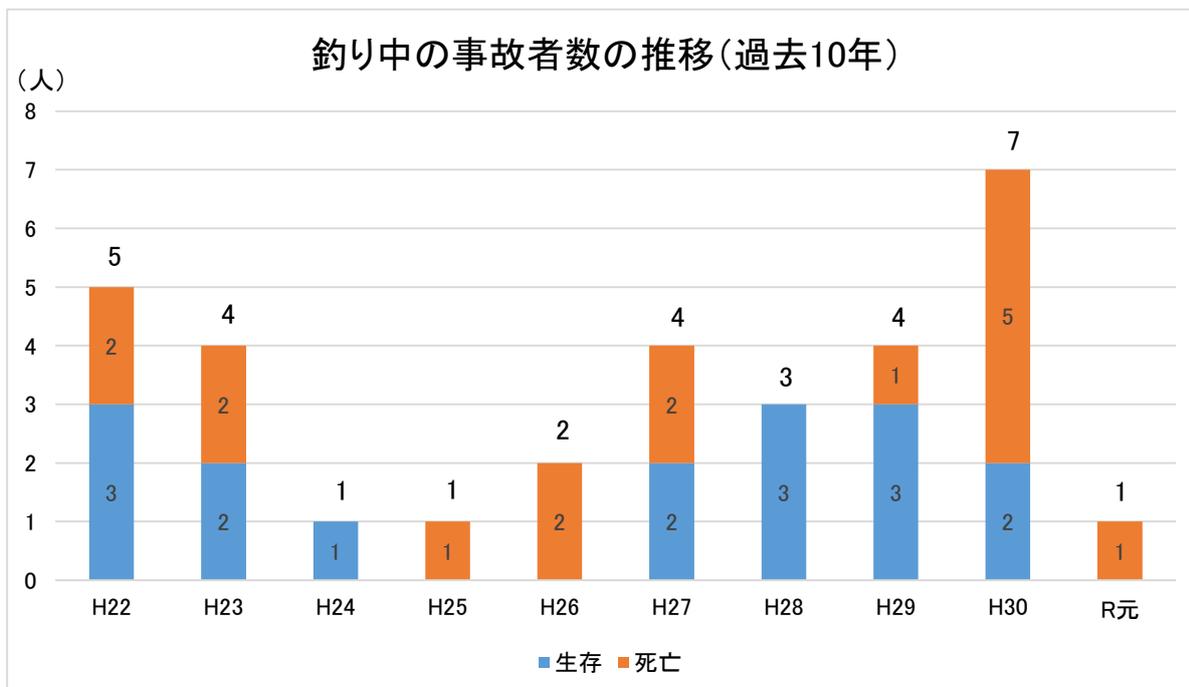
図 2-7

※ “マリレ” とは、マリンレジャーの意味

- 昨年は、遊泳中の事故が最も多く発生し、死者は遊泳中と釣り中の2人であった。
 - 過去10年は、釣り中の事故が最も多く、死者数は全体の約7割を占めている。
- ※ グラフ内（ ）は、死者数

II-6 釣り中の事故者数の推移〔過去10年（H22～R元）〕

図 2-8



- 昨年は、過去10年で最も多いH30から6人減少し、最も少ない発生数となった。
- 過去10年、生存者数と死亡者数は同数である。